

科目名		住宅構造演習			
担当教員		目黒 敬也		実務授業の有無	有
対象学科		建築大工科	対象学年	2	開講時期
必修・選択		必修	授業形式	演習	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		1/20の模型を製作することで、図面を読み取り形にする力、また図面から立体をイメージする力を養うための演習			
学習目標 (到達目標)		①模型の制作を通じて、住宅の図面から立体的な形状を理解する力を養う ②軸組模型を通じて、在来工法の仕組みや部材名称を理解する			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①配布資料                      ②製図道具 ③カッター等			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	軸組模型作製手順の説明			資料を使って説明、解説をする 達成目標：軸組模型作製手順を理解する	
2	軸組模型			方法：資料を使って説明、実演 達成目標：課題の完成	
3	1/20軸組模型-1 ①基礎、束石の作製 ②基礎、束石の取付			方法：資料を使って説明、解説 達成目標：項目①、②の完成	
4	1/20軸組模型-2 ①土台、大引、根太の必要数量の算出、木取り ②土台、大引、根太の製作、組立			方法：資料を使って説明、解説 達成目標：項目①、②の完成	
5	1/20軸組模型-3 ①柱、胴差、軒桁、梁の必要数量の算出、木取り ②柱、胴差、軒桁、梁の組立			方法：資料を使って説明、解説 達成目標：項目①、②の完成	
6	1/20軸組模型-4 ①2階床根太の必要数量の算出、木取り ②2階床根太の取付			方法：資料を使って説明、解説 達成目標：項目①、②の完成	
7	1/20軸組模型-5 ①母屋、垂木、の必要数量の算出、木取り ②母屋、垂木の取付			方法：資料を使って説明、解説 達成目標：項目①、②の完成	
8	1/20軸組模型-6 ①鼻隠し、破風板の必要数量の算出 ②鼻隠し、破風板の取付			方法：資料を使って説明、解説 達成目標：項目①、②の完成	
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
課題の評価	提出期限を守る			社会に出てからの実務に不可欠な、在来工法の軸組模型について学ぶ。模型を製作することで木造住宅の組んでいく順序や部材の名称を理解する。	
80 %	20 %	%	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		建築大工として約5年実務に携わる			